

ふくしま 授産事業振興会だより

第27号

平成28年3月発行

(発行者)

福島県授産事業振興会
授産事業支援センター
<http://www.f-jusan.jp>

〒960-8012 福島市御山町8番30号(福島県保健衛生合同庁舎4階) TEL 024-563-1228 FAX 024-563-1234 E-mail: info@f-jusan.jp



福島県授産事業振興会

会長 三浦 正一

会員の皆様には平素より当会の運営にご協力をいただき厚く感謝申し上げます。

東日本大震災・原発事故の発生からまもなく節目の5年になりますが、避難区域内においては、徐々に避難指示解除が広がりつつあるものの長引く避難生活者にとっては帰還意欲が低下し、地域コミュニティの存続が危惧されております。生活環境整備に拍車をかけていただき、住民が安心して生活ができる日が一日も早く訪れることを願っております。

さて、今年度は例年になく本県において全国レベルの大会等が相次いで開催されました。その会場において施設製品の展示即売会を実施させていただき、製品を通して多くの皆さんと触れ合い“元気な福島”を全国に発信できたことは大きな成果でありました。主催者及び来場者の皆様に厚く感謝申し上げます。

このほど、平成26年度全国の平均工賃(月額)が公表されました。本県は、13,571円で前年度より729円アップし、全国順位も2つ上がり38位になりましたが、目標工賃まではまだほど遠い金額です。

平均工賃の向上には、施設間の工賃格差を狭め全体の底上げを図る必要がありますので、当会としては施設長・職員のスキルアップのための研修や商品開発、作業技術向上の支援に努めていきたいと考えております。さらには、安定した受注の確保や販路拡大に向けて会員の皆様と連携して取り組んで参りますので、一層のご支援ご協力をお願いいたします。

第21回福島県授産事業振興会通常総会について

平成27年5月29日(金)に福島市民会館において、平成27年度(第21回)福島県授産事業振興会通常総会が開催されました。総会には、会員120名(委任状82名含む)が出席し、菊地洋子副会長が司会を務め、添田浩副会長の開会のことばで進行しました。

はじめに、三浦正一会長より、東日本大震災・原発事故から4年が経過したが、避難している施設は未だに帰還できず、やむなく避難先で事業再開したところや風評被害に悩まされている施設もあり、まだ復興の道のは長いがお互いの施設が連携協力し合って前進して行こう。とあいさつが述べられました。次いで、来賓の古山幸一福島県保健福祉部障がい福祉課長(県保健福祉部長代理)、安部光世福島県社会福祉協議会事務局長(県社協会長代理)から祝辞が述べられ、来賓紹介を行った後、森田久弥氏(太陽学園)を議長に選出して議事が進められ、いずれも原案のとおり可決承認されました。

また、役員改選が行われ、三浦正一現会長が再任されました。

本総会の提出議案及び新役員は次のとおりです。

議案第1号 平成26年度事業報告の承認について

議案第2号 平成26年度一般会計収入支出決算書の承認について

- 議案第3号 平成26年特別会計（障害者就労支援事業所支援コーディネーター事業）収入支出決算書の承認について
- 議案第4号 平成26年特別会計（授産施設等震災復興支援事業）収入支出決算書の承認について
- 議案第5号 平成27年度事業計画書（案）について
- 議案第6号 平成27年度一般会計収入支出予算書（案）について
- 議案第7号 平成27年特別会計（障害者就労支援事業所コーディネーター事業及び授産施設等震災復興支援事業）収入支出予算書（案）について
- 議案第8号 福島県授産事業振興会役員の改選について



●●● 福島県授産事業振興会役員 ●●●

任期 平成27年6月9日～平成29年6月8日（2年）

	氏 名	所属・役職名		氏 名	所属・役職名
会 長	三 浦 正 一	NPO 法人ひろせ・理事長	理 事	渡 辺 実	社福けやきの村・青松苑・苑長
副会長	菅 沼 貴代晴	地域生活サポートセンターエル白河・管理者	〃	高 橋 鐵 平	郡山市緑豊園・園長
〃	菊 地 洋 子	NPO 法人真桜会桜の家・理事長	〃	横 田 守	ライジング・サン・施設長
〃	村 田 純 子	県福祉作業所・事業所連絡協議会・会長、NPO 法人ほっと悠・理事長	〃	大 栗 真 弓	さぎそうの家・施設長
理 事	安 部 光 世	福島県社会福祉協議会・事務局長	〃	郡 信 子	自立研修所ビーンズ・所長
〃	小 室 雅 幸	福島県社協障がい児者福祉施設協議会、福島縫製福祉センター・所長	〃	佐 藤 みさ江	いわき学園・管理者
〃	堀 謙 治	福島県身体障がい者福祉協会・会長	〃	鈴 木 繁 生	のはら・管理者
〃	河 野 由美子	福島県手をつなぐ親の会連合会・理事	〃	浅 倉 秀 雄	学識経験者・福島県視覚障がい者協力会・事務局長
〃	村 上 実	福島県知的障害施設協会・会長、総合児童発達支援センターアルパ・施設長	監 事	齋 藤 芳 子	笹森の郷・所長
〃	吉 原 秀 一	福島県精神保健福祉会連合会つばさ会・副会長	〃	千 葉 正 年	ゆうゆうハウス・理事長
〃	高 田 薫	NPO 法人ひびきの会・ワークショップひろんど・所長	〃	松 崎 広 光	福祉サービス事業所かがやき・所長

新運営委員の紹介

平成27年度第1回福島県授産事業振興会・授産事業支援センター運営委員会が平成27年10月1日（木）福島市民会館において開催されました。

委員の任期満了により、新しく運営委員に委嘱された15名の方に三浦会長から一人ひとりに委嘱状が交付されました。

議題では、はじめに委員長・副委員長を選任し、次いで、専門部会の構成と各部会長の選任を行いました。次いで、アンテナショップ「福祉の店いわき」の開催場所の変更、県外での展示即売会の開催、新製品（商品）開発コンクールの実施などについて意見交換を行いました。

新しく運営委員に委嘱された方は次のとおりです。

任期 平成27年9月1日～平成29年8月31日（2年）

部会名	県北	県中・県南	会津	浜
販売促進	★加藤 敏子 (ワークセンター歩) 高野 真哉 (まちなか夢工房)	石井 弘子 (でんでんむし) 山寺 孝一 (ライジング・サン)	大栗 真弓 (さぎそうの家)	吉田あけみ (いわき希望の園ゆにば)
広 報	平 由紀子 (あだち共労育成園)	新貝 典央 (NPO 法人みんなのまーち)	★穴沢 明美 (共働作業所ピーターパン)	大竹 恵子 (なこそ授産所)
商品開発	松浦さおり (太陽学園) 宍戸 綾子 (なのはなの家)	◎市川 堅 (工房トマトハウス)	○千葉 至彦 (ゆうゆうハウス)	★北畑 尚子 (自立研修所ビーンズ)

◎は委員長、○は副委員長、★は部会長

支 援 事 業

◆食品表示法研修会

食品の表示について定めた新しい法律「食品表示法」が平成27年4月1日から施行されたことを受けて開催しました。

- 期 日 平成27年5月18日（月）
- 場 所 福島県農業総合センター（郡山市）
- 参加者 69事業所・96名
- 講 師 高田かおり氏（株消費経済研究所品質管理サポート部チーフディレクター）



◆神戸スイーツコンソーシアム（KSC）による菓子づくり講習会

社会福祉法人プロップ・ステーションと日清製粉株式会社の主催で菓子作りを通じて障がい者の就労支援を行うことを目的に、エゴマとブルーベリーを使用した創作菓子「祈りのプレッツェル」の実技講習を行いました。

- 期 日 平成27年7月24日（金）
- 場 所 MAX ふくしま「アクティブシニアセンター・アオウゼ」（福島市）
- 参加者 7事業所・14名
- 講 師 八木 淳司氏（オーストラリア国家公認マイスター）



◆先進地視察研修

宮城県内で工賃が高い事業所の視察を行いました。

○期 日 平成27年9月10日（木）

○参加者 18事業所・30名

○視察先 ① 社会福祉法人はらから福祉会

- ・くりえいと柴田
- ・えいむ亘理
- ・ふきのとう村田
- ・コッペ

レトルト食品・パン製造
牛タン加工
大河原合同庁舎の食堂委託
パン、菓子

② NPO 法人麦の会



◆タリーズコーヒー教室

コーヒー提供事業所のレベルアップと新規参入を計画している事業所を対象に、コーヒー豆の基礎知識、焙煎方法、おいしいコーヒーの入れ方などの実技講習を行い、最後に皆さんで飲み比べをしました。

○期 日 平成27年11月11日（水）

○参加者 15事業所・31名

○講師 田代 洋介氏（タリーズコーヒージャパン株式会社 営業本部トレーニンググループ第2チームリーダー）



◆農のある就労づくり勉強会

福祉分野と農業分野が課題解決に向けて、提供可能なサービスをマッチングすることで利益が生じる取組を目指して勉強会を開催しました。

また、県庁売店において「農福連携フェア」として野菜や野菜加工品の販売会を実施しました。

○期 日 平成27年11月19日（木）

○場 所 県庁福祉公安委員会室（福島市）

○参加者 20事業所・26名

○内 容 ① 全国における農福連携の好事例・28年度農水省交付金事業

- ・一般社団法人日本基金 林 正剛氏

② 農に取り組む事業所からの事例報告

- ・社会福祉法人こころん 熊田 芳江氏
- ・特定非営利活動法人 JIN 川村 博氏



展示即売会・アンテナシヨップ

◆県外での販売会の開催

仙台と東京で商品の販売・PRを行いました。仙台駅での販売会は、宮城県内の事業所が多数出店している中に混じり奮闘してまいりました。

1 ふくしまフェア in 東北ろっけんパーク

○期 日 平成27年8月27日（木）～28日（金）

○場 所 東北ろっけんパーク（仙台市）

○出 展 17事業所

2 ナイスハートバザール in せんだい

○期 日 平成27年10月5日（月）～8日（木）

○場 所 JR 東日本 仙台駅「2階コンコースステンドグラス前」

○出 展 15事業所

3 ふくしま大交流フェア

○期 日 平成27年10月17日（土）

○場 所 東京国際フォーラム（東京都千代田区）

○出 展 18事業所



（ふくしまフェア）



（ナイスハートバザール）



（ふくしま大交流フェア）

◆大展示販売会 in 福島銀行…売上も過去最高の300万円を突破

今や恒例となりました福島銀行での販売会も今回で4回目を迎え、12月11日（金）から13日（日）の3日間、福島銀行本店で開催しました。

今回は、仙台での販売会で大変お世話になりましたので、みやぎセルプにも出展をお誘いしたところ快諾していただき、宮城県の商品も一緒に販売いたしました。

会場では、昨年同様うどん、焼き芋などの模擬店や歌とダンスのステージイベント、さをり織り、革刻印などの実演・体験コーナーも設け、来場者にはこの販売会を楽しみしている方も多く大盛況でした。今年も、“あたまがふくしまちゃん”に登場していただき、♪あれはあたまがふくしまちゃん♪の歌に合わせて大人もお子さん一緒にダンスを楽しんでいただきました。



（販売会場）



（あたまがふくしまちゃん）



（革刻印体験）

◆県庁内販売会・県民ホール喫茶営業

県庁売店での販売会も丸2年が過ぎましたが、今やリピーターも増えて順調な売上げを示しています。また、県庁消費組合から喫茶営業を請け負うことになり、2月1日から市内の2事業所が参画することになりました。

- 県庁販売会
1. 場 所 県庁西庁舎地下1階売店
 2. 販売日 ・毎週火曜日 1事業所
・毎週木曜日 5～6事業所
- 喫茶営業
1. 場 所 県庁西庁舎2階県民ホール
 2. 事業所営業日時
・毎週月・水・金曜日（9：00～15：00）
・第3火曜日（10：00～15：00）



(喫茶営業)

※ 上記曜日以外に参加したい事業所を募集しております。

◆アンテナショップ「福祉の店」

福島市、郡山市、いわき市の3会場で毎年2回定例開催しています。

今年度は、2年ぶりに会津若松市でも開催しました。

場 所		開 催 日	
		1 回 目	2 回 目
福 島 市	中合福島店	27. 8. 20～25(6日)	27. 10. 15～20(6日)
郡 山 市	イトーヨーカドー郡山店	27. 6. 11～22(12日)	28. 1. 21～2. 1(12日)
い わ き 市	鹿島ショッピングセンターエブリア	27. 7. 9～20(12日)	27. 11. 13～25(12日) ※18日休業日
会津若松市	アピタ会津若松店	27. 9. 25～27(3日)	



(アピタ会津若松店)



(鹿島ショッピングセンターエブリア)



(イトーヨーカドー郡山店)



(中合福島店)

授産施設新製品(商品)開発コンクール・ 授産施設関係職員等研修会

平成27年度授産施設新製品(商品)開発コンクール及び授産施設関係職員等研修会が平成28年1月30日～31日「飯坂ホテル聚楽」(福島市飯坂町)で開催されました。

コンクールは、今回から「非食品の部」と「食品の部」に分かれ、非食品の部には、17施設から30点、食品の部には、7施設から10点、全体では、22施設から40点の応募がありました。入賞製品は次のとおりです。

◆非食品の部

- 金賞 いくらいっぱい新巻鮭 【ハッピーロード】(会津若松市)
- 銀賞 ネクタイポーチ 【地域活動支援センターあおば】(福島市)

◆食品の部

- 金賞 とちおとめ苺ブレッド 【地域生活サポートセンターエル白河】(白河市)
- 銀賞 酒粕クッキー(プレーン味・あらびきコショウ味) 【社会福祉法人こころん】(泉崎村)

◆特別賞

- 福島民報社賞 米シフォンケーキ 【たまごカフェ】(福島市)
- 福島民友新聞社賞 あいづもめんのバッグフック 【夢の樹】(会津若松市)



(審査会)



(審査会試食)



(入賞製品)

研修会は、県内の施設・関係者93名が参加して開催されました。

1日目(30日)は、特定非営利活動法人素材広場 理事長 横田純子様から「消費者が求める6次化商品とは」と題してのセミナー、福島県障がい福祉課 坂中聖子様より「工賃向上支援事業の取り組み」についての行政説明が行われました。

2日目(31日)は、つくば市において障がい者を雇用して農場経営を行っている、ごきげんファーム農場長 伊藤文弥様から「障がい者を雇用した農場経営の実践事例」についての基調講演、福島銀行展示即売会等で毎年お世話となっております、福島銀行取締役社長の森川英治様から「感謝と意識改革」と題して特別講演をいただきました。



(セミナー)



(基調講演)



(特別講演)

施

設

紹

介

就労継続支援B型事業所 杜の花

(福島市)



杜の花は就労継続支援B型事業所として、平成26年9月に開所しました。一緒に考えながら、メンバーさん一人ひとりに合った自立を目指していくことを目標にしています。杜の花は、昼休みの1時間だけですが、食堂としてオープンします。メンバーさんは、杜の花ランチの調理や片付けなどの厨房内の作業や、市役所への出前などに取り組んでいます。1種類だけの日替わりですが、人気メニューとなっていて、ご予約のみで毎日完売の状況です。毎月のメニューはHP (morinohana.jp) でご覧いただけます。笹谷には畑があります。ベジファーム班が野菜やハーブを育てています。その他、革工芸やレジン、スイーツデコなどの自主製品製作販売、県立図書館のデータ入力、オーラルピース委託販売事業（高齢者や重度心身の方向けの口腔ケア商品です）などに取り組んでいます。また平成27年4月に、杜の花ARTプロジェクトを立ち上げました。絵画、作曲などの創作活動を行っていて、10月には東邦銀行市役所支店で絵画展を開催しました。今後としましては、杜の花ブレンドコーヒー販売（研修中です）、伝統機織り工芸、藍染めなどを計画しています。ご見学大歓迎です。他の事業所さんとも連携を取りながら、進んでいきたいと考えています。よろしくお願いいたします。(27. 4. 27入会)



NPO 法人 あおば

(福島市)



加須に非難し、メンバーさんもちりぢりになりあおばの再開は難しいと思われました。そんな中、たくさんの方々のご支援をいただき、ここ福島市で再稼働できることとなり、丸4年が経ちました。今は、双葉郡の利用者さんと福島市の利用者さん、精神と知的の利用者さん、年齢は20代から50代の男女7名とスタッフ3名です。

手作りの小物品をメインに咲き織りや、箱折り出張作業、干し芋の販売で得た収益がお給料となります。振興会さんに入会したお陰様で販売ルートの紹介も頂き、少しずつ軌道に乗ってきました。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

みなさん、どうぞあおばに遊びに来てください。(27. 4. 1入会)

みなさん、こんにちは。双葉町からやってきましたNPO 法人あおばです。

私どもの事業所は、双葉町役場と双葉町厚生病院の間にあった老人福祉会館を町から借り、地域活動支援センターとして、主に精神に障害のある方々の居場所として利用されていました。当時は毎日、10名位の方が、仕事としての内職や自主製品作りに参加し、また仲間たちとおしゃべりや行動を共にしていました。

震災後、双葉町は埼玉の



就労支援A型事業所 シャローム福祉会・まちなか夢工房

(福島市)



当事業所は、平成27年4月に就労支援A型の施設として開所致しました。

場所は福島市パセオ通りの南側で外から見ると一見普通のパン屋さんですが、お店の中の商品は全て障がいを持っている人達が、作り上げた商品を展示し販売しています。

活動内容はパン作りだけではなく、建物の2階に新たに新設されたオフィス

夢工房（PC班）では、文章・表作成・データ入力・パンフレット作成などに加えてWebページの制作依頼・保守業務等も行っています。

当シャローム福祉会の目的および理念は、障がいを持つ人も持たない人も、共に自分らしく生きるための場作りを目標にして、利用者一人ひとりの個性や能力をよく理解・認識して、社会へと繋いでいく中間的役割や、仲間たちとの交流・就労の場を提供しながら、就労技術を提供していく事を目的にシャローム福祉会は設立されました。

また、特別支援教育を受けている生徒や児童が学校の授業において、校外実習という形で随時、実習生を受け入れて当事業所で研修を行うなど地域社会・学校などと連携しながら幅広く、障がいを持つ人も持たない人も活躍できる社会を目指して日々活動しております。(27. 5. 26入会)



就労継続支援B型事業所 NPO法人 あさひ福祉会 あさひスマイル

(福島市)



(事業所外観)

あさひスマイルは平成22年4月に開所し、お陰様で7年目を迎えるようとしています。現在メンバーさんも26名にまでに増え、とても賑やかな毎日を送っています。

あさひスマイルは“障がいがあっても地域で当たり前の生活をした”という皆さんの思いを実現するために、日中活動の場として、就労を目指して訓練する場として運営しています。これまで事業所内での内職作業を主として行ってきましたが、工賃アップ、就労に必要なコミュニケーション能力の向上やチームワーク作りのためにも、外に一步出てみようということになりました。そこで昨年からはじめたのが、クロネコDM便の配達作業とアパート清掃です。わからないことはスタッフに相談し、問題を一緒に解決しながら、一丸となって取り組

んでいます。

私たちは“地域になくてはならないあさひスマイル作り”を目指しています。地域に根差し、地域に貢献できる事業所作りと人材育成。そしてメンバーの皆さんが少しでも自活能力を付けられるよう、更なる工賃アップを図って、経済的自立の一助としたいと考えています。

あさひのようにほかほかと、スマイルいっぱいの事業所です。是非お気軽に遊びに来てください。(27. 4. 1入会)



(アパート清掃の様子)



(自主製品)

就労継続支援B型事業所 NPO 法人コーヒータ임

(二本松市)



(カフェ店内)

コーヒータ임は、平成18年4月「小規模作業所コーヒータ임」オープンから今年で10周年を迎えます。また、震災後二本松で活動を始めて、10月で5年になります。改めて、皆様の御支援御協力に感謝しています。現在、コーヒータ임は、二本松駅前、二本松市民交流センター内で、夢いっぱいの手作り作品が並んだレンタルボックスと、美味しいコーヒーとお菓子、軽食のカフェを運営しています。また、金色事務所では、なみえ焼きそばのソース詰め、ボールペンの糸巻、ピンバッチの製造、「ぼるぼるん」の箱折り等の委託作業や、さき織、ストラップ等の自主製品の製造をしています。他にも授産事業振興会の紹介で、昨年からは、施設外就労としてアパート清掃をはじめました。コーヒータ임は、社会の入り口として、就労に向けての訓練の場、カフェやレンタルボックスの運営を通して地域の方々との交流の場、情報交換の場、安心して居られる居場所の一つ

として、これからも、地域の中で「ほっと一息コーヒータ임」として活動して行きたいと思っています。二本松にお越しの際には是非お立ち寄りください。美味しいコーヒーと、笑顔でおもてなしをいたします。これからもよろしくお願いいたします。(27. 4. 1入会)



(金色事務所)

障がい福祉サービス事業所 ステップボード

(喜多方市)



障がい福祉サービス事業所 ステップボードは、東日本大震災により一層深刻化した障がい者の雇用を確保するため、利用者に就労の機会を提供するとともに、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう支援するため、平成26年9月に開設しました。

作業内容は、荒川産業株式会社からの作業委託による、電気機器、電気部品の解体、電線を剥離し、部材ごとに分別することが主なものですが、利用者の障がいや個性を活かしそれぞれに合った作業を体験し、継続できるよう支援しております。

当事業所は、立地的に利用者が自ら通所することが難しいことから、ほぼ全員が送迎にて通所しております。

「ステップアップを目指して」利用者も職員も一丸となって頑張っています。(27. 4. 10入会)



就労継続支援B型事業所 NPO法人 SWELL・IN・FUKUSHIMA 「つぼみ」

(福島市)



法人立ち上げから10年になりました「つぼみ」でございます。飯坂に移り5年になりますが、住民の皆様のご理解、ご協力を頂き事業所運営をさせて頂いております。「つぼみ」では主に焼き菓子を中心に今まで行ってきましたが、最近では、フルーツキャップの仕事にもトライしております。利用者の方は20代の方が殆どで、12人の若々しい雰囲気が漂っています。

ここで働いている方たちは、お菓子が大好きで失敗作が時々出来るとニンマリとし、休憩時間に美味しくいただけるのも楽しみのひとつでニコニコ笑顔に包まれております。外部販売も月に何回かあり、販売に行くのを楽しみに取り組んでいます。

「つぼみ」ではそれぞれが出来ることを増やしていきましょうという考えのもとに朝、ミーティング時のお茶入れや、洗濯機を使い洗濯し干す、お掃除はトイレ掃除も毎日、当番制で職員と一緒に取り組んでいます。皆さん家でもやったことがなかったものの、今では、出来るようになってきて自信のある表情が見られ、仕事にも生かされております。工賃アップの面でも一生懸命取り組む姿勢が見られ、頑張っている方にはお給料アップに繋がっています。

これからは、販路を開拓し、利用者みなさんに寄り添いながら一緒に美味しいお菓子作りにトライして行きたいと思います。また、授産振興会に入会したことで、皆様からのさまざまなご意見、情報を頂きより良い運営に努めて参りたいと思います。(27. 7. 14入会)



多機能型事業所 ピーターパンデイサービスセンター

(会津若松市)



ピーターパンデイサービスセンターは、平成15年11月1日、当時の「共働作業所ピーターパン」利用者・保護者・職員・役員並びにたくさんの方々からの出資により有限会社ピパネットを立ち上げ開所致しました。開所当時は定員8名でスタートしましたが、現在、生活介護事業21名、就労継続支援B型事業10名の合計31名の定員で運営しています。

生活介護事業では、シュレッダーを作業に取り入れて袋詰めし、緩衝材として販売しています。また、アルミとスチールを分別し、リサイクルとして売り上げています。

就労継続支援B型事業では、会津の伝統的な民芸品「赤べこ」製品の赤塗り作業に取り組み、会津の観光産業の一翼を担っています。また、夏場は(有)紙屋商店様のところてんパッケージ詰め作業を、冬場は(株)おくや様の落花生殻むき作業に取り組み、しっかりと工賃を稼がせていただいております。(27. 4. 6入会)



情報コーナー

◎アンテナショップ「福祉の店いわき」の開催場所が変更になります。

平成25年度から27年度までの3年間、販売会場としてお世話になりました、鹿島ショッピングセンターエブリアが改装工事により、使用できなくなりましたので、28年度は「イオンいわき店」（いわき市平）に会場を移動する予定です。

◎28年度アンテナショップ「福祉の店」の開催日程（予定）

・郡山市	イトーヨーカドー郡山店	1期	6. 9(木)～20(月)	12日間
		2期	29. 1. 19(木)～30(月)	12日間
・いわき市	イオンいわき店	1期	7. 7(木)～18(月)	12日間
		2期	11. 10(木)～21(月)	12日間
・福島市	中合福島店	1期	8. 18(木)～23(火)	6日間
		2期	10. 13(木)～18(火)	6日間

※1 開催日程は会場の都合により、変更する場合があります。

2 会津若松でも3日間の日程で開催を予定します。期日は確定次第お知らせします。

事務局通信

◎平成28年度（第22回）通常総会を開催します。

- ・日 時 平成28年5月27日(金) 午後1時30分から
- ・場 所 福島市民会館2階大ホール

◎平成28年度生産物賠償責任保険（PL 保険）の更新について

展示即売会、アンテナショップなど当会が主催する販売会及び県外の支援販売に参加するには、この保険に加入していることが必須条件です。当会の一括契約に加入している事業所は4月末で契約期間が満了になりますので、当会から更新の案内が届いたら忘れずに申し込みをお願いします。

編集後記

本号の振興会だよりに、東日本大震災で双葉町と浪江町から避難してきた、2つの事業所が紹介されています。施設紹介の文面は多くの皆さんへの感謝の気持ちが溢れており、また、困難に立ち向かって前向きに活動している様子が表れております。

23. 3. 11この数字は決して記憶から消し去ることはできません。節目の5年、風評と風化の逆風に負けず復興・創世元年をスタートしましょう。

運営委員会広報部会